

第	内 容	日時・場所
6 回	「政策分析 2」＜実践編＞	令和元年 9 月 10 日（火） 滋賀大学大津サテライトプラザ

9 月 10 日に滋賀大学大津サテライトプラザにて「政策分析 2＜実践編＞」が行われました。
政策研究テーマごとのグループに分かれて担当講師の講義の聴講、また、議論等を行いました。

各グループの取り組みと担当講師からのコメント

共生社会グループ

●まとめ

1. 米原市の多文化共生政策の現状報告
2. 湖南市の多文化共生政策の現状報告
3. 中間発表に向けたディスカッション

●神部講師からのコメント

第 6 回は、それぞれの自治体の共生政策を報告してもらい、現状と課題を互いに確認しました。このことで、少しずつこのグループでやるべきことが見えてきたのではないのでしょうか。次回からは、それを具体的な形へとしていきます。

地域産業グループ

●まとめ

- ・モデル地域として長浜市を選定
- ・リーダー佐藤、サブリーダー北村の選任
- ・次回は長浜市の視察を希望。北村さんが調整

●石井講師からのコメント

提案受け入れの可能性という点で、長浜市をモデルとして研究を行うことを決定。メンバーで市の課題を話し合ったが、行ったこともない方が多く、次回は現地を見ようということとなった。リーダー、サブリーダーも決まり、研究が始まった

●上田講師からのコメント

チーム内の役割も決まり、地域の特定も完了した。今後議論を本格的に進めるにあたり、まず現状分析からスタートしていく。そのためには、現場を見て各人が問題認識を持ち、グループ内での共有化が次のステップ。まずは、中間報告に向けて頑張ってもらいたいと思います。

地域ガバナンスグループ

●まとめ

今回は、市民参加に積極的に取り組んでいる県内自治体のヒアリングを行った。10 時から守山市役所へ伺い、市民協働課から話を聞いた。14 時からは、草津市役所へ伺い、自治体基本条例、住民投票条例を所管している企画調整課、その後、市民参加条例を所管しているまちづくり協働課から話を聞いた。その後、市役所の会議室を借りて、研究を続けた。

●阿部講師からのコメント

実際に市民参加の仕組みを運用している自治体職員からその状況を生で聴けたので、市民参加に対する受講生の認識は高まったと思う。市民側の意見も聞きたいという感想もあったので、そういう場の設定を考えていきたい。

次回：第7回「政策分析3<実践編>」9月24日（火）15：00～18：00

滋賀大学大津サテライトプラザにて